

2018年度総会報告 本部事務局

2018年6月22日（金）、大阪工業大学梅田キャンパス常翔ホールにおいて、第65回総会が開催されました。司会進行は佐藤弘喜本部事務局長が行いました。司会より、議決権を持つ代議員の出席者数が会場出席者35名、委任状出席者13名、書面表決状が38で、過半数（定数134名）により総会が成立することが報告されました。次に総会の議事録署名人2名を会場から募り、國澤好衛理事と加藤健郎理事が担当することを決定した後に議事に入りました。議事は松岡由幸会長を議長として進行了しました。



松岡由幸会長による挨拶

はじめに、松岡由幸会長より挨拶と活動方針の説明がありました。2018年度は対象領域の拡大、研究・教育基盤の向上、他団体との連携強化の三つを基本施策として推進していきたいとの方針が示されました。次に、第1号議案として2017年度事業報告が國澤好衛副会長から説明されました。会場からの質疑応答を経て議決の結果、承認されました。また第2号議案の



國澤好衛副会長による2017年度事業報告

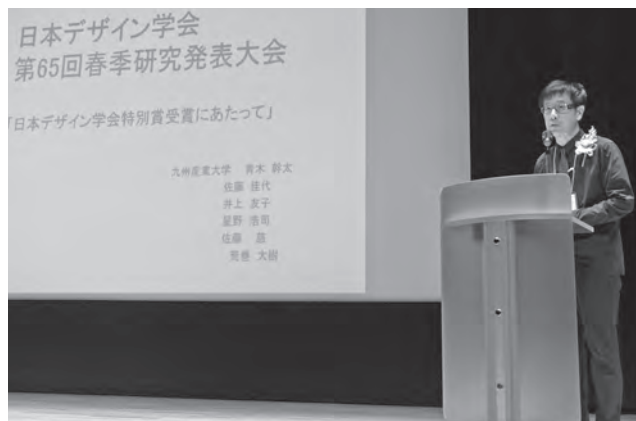
2017年度収支決算報告が小野健太本部副事務局長により説明され、それに対し山中・生田目監査から監査報告がなされました。引き続き、第3号議案として2018-2019年度役員選任について井上征矢選挙管理員長より説明がありました。2018-2019年度の理事候補者、監事候補者が示され、会場からの質疑応答を経て議決の結果、全員が承認されました。



小林昭世副会長による2018年度事業計画

議案の審議が終了した後、報告事項として2018-2019年度委員会一覧（案）、日本デザイン学会組織（案）が示され、続いて2018年度事業計画（案）が小林昭世副会長より説明されました。そして、2018年度予算案が佐藤弘喜本部事務局長より説明されました。なお、議案の詳細については会報末に総会資料を掲載いたしましたので、ご参照下さい。

議事終了後、学会各賞選考委員会の久保光徳担当理事より、学会各賞の報告がありました。西川清氏、工藤卓氏、河原林桂一郎氏が功労賞を、青木幹太氏、佐藤佳代氏、井上友子氏、星野浩司氏、佐藤慈氏、荒巻大樹氏が特別賞（共同受賞）を、そして川上比奈子氏が年間論文賞を受賞されました。最後に青木幹太氏による記念講演がありました。



青木幹太氏の記念講演

第65回春季研究発表大会報告

大会実行委員長 赤井 愛

日本デザイン学会第65回 春季研究発表大会（大会委員長：宮岸幸正）は2018年6月22日（金）～24日（日）、大阪工業大学梅田キャンパスを会場に、大阪工業大学の共催で行われました。3日間の参加登録者は581名（うち来場者470名）となりました。

大会テーマは『“デザイン”の時代』とし、「これからはデザインの時代や」という言葉に象徴されたものづくりの時代を経て、拮がり続ける“デザイン”の概念や役割を今一度見つめ直し、将来に向け問いかけていく機会にしたいと考えました。また、デザインの多様性や環境との共生などの意図を含め、開催地にほど近い淀川水系のナマズとその体表の模様を大会のメインモチーフとしています。

大会初日は宮岸幸正 大阪工業大学副学長、松岡由幸 日本デザイン学会会長の開会の辞とともにスタートしました。基調講演には中台澄之氏（株式会社モノファクトリー代表取締役）をお招きし、『捨てる』をデザインする 一循環を前提としたモノのトレーサビリティ』というテーマでご講演いただきました。製品を生み出す際に必要とされることの多い“デザイン”ですが、その製品が捨てられ、最終的に埋め立てられるまでの時間、距離をどう延ばすか、その一つ一つの過程を我々どのようにデザインし得るかということについて、様々な事例をまじえてお話しいただきました。

基調講演後の特別セミナーとして山田繁和氏（大阪工業大学知的財産研究科 特任教授）による『デザイン開発とデザイン保護』を実施しました。知的財産権によって、製品のデザインを模倣から守り、製品及び企業ブランドの構築に役立てている最新の事例紹介を通して、デザイン開発契約や知的財産権による保護のあり方について考える機会としました。

エクスカッションは水都大阪を船で巡る『若手落語家と行くなにわ探検クルーズ』を予定していましたが、6月18日に起

きた大阪北部地震の影響を鑑み中止としました。

第2日目、3日目は、269件の研究発表と4つのオーガナイズドセッションを実施しました。口頭発表では18分野に加え、6つのテーマセッションが設けられ、180件の発表がありました。地震の影響による発表者の不参加が各セッションに見られましたが、代理発表の他、動画による発表やSkypeを活用した質疑など様々な工夫により、活発な議論が行われました。

ポスター発表は89件となり、9階イノベーションラボにて2日にわたり実施しました。スペースに比較的ゆとりがあったことから、家具などの大型作品を展示する発表者もあり、会場の周囲に配置された椅子に座り熱心に討議する姿も見られました。

オーガナイズドセッションは下記4テーマを実施しました。

OS-A「AR・VR・Remote Surgical・3D Rapid Prototyping を利用したデザインからの医療への新しいアプローチ：次世代の診断・治療への利用」（オーガナイザー：國本桂史）では、医療・ヘルスケア現場での新しい対応、医療技術、医療デザインの研究・開発の新しい事例や、先駆的AR技術・VR技術そしてそれらを応用した医療の新しい事例などの報告と共に、これからの医療・ヘルスケア分野でのデザインの在り方、そして臨床医療領域での応用などについて議論がなされました。

OS-B「タイムアクシスデザイン（TaD）維新は新たな地平を拓くか？」（オーガナイザー：松岡由幸）では、タイムアクシスデザインについて、デザイン理論・方法論においてはサービスデザインをまじえて使えば使うほど価値が増大する価値成長デザイン、環境デザインでは景観デザインや公園デザインなど、分野横断的な視点から事例紹介や状況、共通の課題や方法論について議論されました。

OS-C「“デザイン”の時代 — QOL+（プラス）を考える」（オーガナイザー：赤井愛、朽木順綱）では、QOLという概念をより広い観点から捉え直す試みとして「QOL+（プラス）」と再定義し、QOLを「人間の“姿”から見る」「“社会”から見る」「“霊長類”から見る」そしてそもそも「見る／みる」とはどういうことなのか」という4つの視点から議論がなされました。

OS-D「サービスデザイン／ソーシャルデザインの深耕と展



開会式（左：宮岸大会委員長 右：松岡会長）



基調講演（中台澄之氏）



特別セミナー（山田繁和氏）

開」(オーガナイザー：山岡俊樹)では、サービスデザインとソーシャルデザインの基本的な考え方、デザイン方法及び事例を紹介し、そこから両デザインの相違点、類似点を明確にするとともに、両者の深耕と展開、及び学会での取り組むべきベクトルについて、パネリスト、来場者と共に議論されました。

懇親会は23日(土)、同キャンパス21階「レストランテ翔21」にて行いました。泉州水茄子や河豚、串カツなど、「粉もん」だけではない大阪の食をご用意し、約150名の参加者を迎えました。今年度より新たに設けられた会長賞の授賞式も、この場にて行われました。折よく雨も上がり、大阪の街を一望できるテラス席で眺望を楽しみながら親睦を深める姿が見られました。

また、今大会の試みとして、1階ギャラリーにて協賛企業を中心に、大阪を中心とする企業、団体によるデザイン、ものづくりの事例を展示し、一般の方にもご覧いただける企画展示を実施しました。10階口頭発表フロアの企業展示では8社の展示がありました。口頭発表会場と隣接させることで企業と参加者の活発な交流を図りましたが、やや手狭な印象であり、動線にも積極的な工夫が必要であったと感じています。

最後になりますが、本大会の特筆すべき報告事項として、先述の6月18日の大阪北部地震発生が挙げられます。地震発生後、松岡会長を中心に、新旧理事の方々により大会実施の可否及びそれに付随する事柄について審議が重ねられました。会場となる梅田キャンパスは2017年竣工であり、最新の制震構造

により構内の被害がほぼ無かったこと、地域の防災拠点としての機能を有していることなども考慮され、エクスカージョンを除く全てのプログラムの実施が決定されました。実行委員会は限られた時間の中、構内の安全確認、不参加の受付、様々な問い合わせへの対応に加え、会場の避難経路などを記載した「災害時行動マニュアル」を作成し参加者へ配布するなどして対応しました。これらの動きについては、実行委員会が発足当初から事務系職員を交えた構成となっており、実行委員会と学部事務室間で大会運営に関する情報を共有出来ていたことが、結果として会場全体の迅速な対応につながったと考えています。そして、この地震は想定外の出来事と思われましたが、その後西日本豪雨、台風21号、北海道胆振東部地震と立て続けに大きな自然災害が起きており、通常の大会準備に加え、幹事校として防災面の準備を進めておくことの必要性を改めて痛感しています。

このような状況において、学会員の皆様には多数参加いただき、出展企業・団体の皆様には開催に向け様々なかたちでご協力をいただきました。今回参加を見送られた方々からも、たくさんのお気遣いのメッセージをいただいています。また、松岡会長はじめ理事会、本部事務局の皆様にも絶大なご支援をいただき、幸い会期中は懸念された余震もなく、盛況のうちに終わることができました。心より御礼申し上げますと共に、会員の皆様の益々のご発展を祈念し、開催報告といたします。



オーガナイズドセッションA



オーガナイズドセッションB



オーガナイズドセッションC



オーガナイズドセッションD



口頭発表会場の様子



懇親会 (左：会場の様子 右：会長賞表彰式)



ポスターセッション会場の様子



大阪工業大学梅田キャンパス

当学会では、会費の自動引き落としが義務付けられております。すでに、半数以上の会員の方にご利用いただいておりますが、まだ登録がお済でない会員の方は、登録手続きをされますよう、お願い申し上げます。また、口座引き落とし依頼書がお手元にない方は、本部事務局へご請求ください。

本部事務局

日本デザイン学会2018年度第1回運営委員会議事録

日時■2018年4月7日（土曜日）14：00～17：00

場所■慶應義塾大学 三田キャンパス（田町）

研究棟1階B会議室

出席者■松岡、國澤、井口、大島、田村、寺内、山中、山本、佐藤（弘）、小野、佐藤（浩）、加藤

欠席者■小林、内山、岡崎、工藤、久保（光）、須永

1. 会長挨拶

松岡会長より挨拶がなされた。

2. 2017年度第5回理事会議事録の承認

2017年度第5回理事会の議事録が示され、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 2018年度学会活動方針（松岡会長）

松岡会長より、2018年度学会活動方針案が示された。図の微調整を行い、新理事会メンバが参加する次回の理事会にて示すこととなった。

4. 2018年度学会組織について（松岡会長）

松岡会長より、2018年度学会組織案が示された。案に基づき、新支部長候補・委員長候補へ2018年度活動計画作成を依頼することとなった。作成にあたっては、審議事項3で示した2018年度活動方針案の内容を確認の上で執筆いただくよう、各委員会・支部に関係する理事より新支部長候補・委員長候補へその旨を伝えることとなった。また、上述の依頼と合わせて、2017年度活動報告作成を現支部長・委員長へ事務局長より依頼することとなった。

5. 2018年度学会年間スケジュールについて（佐藤本部副事務局長）

佐藤本部副事務局長より、2018年度学会年間スケジュール案について説明がなされた。議論の結果、6月2日の理事会後に新旧理事の合同引継ぎ会を行うこと、2019年2月の運営委員会をメール審議とし開催しない方向で検討することとなった。また、次回の理事会にて修正版を示すこととなった。

6. 2018年度名誉会員の選考について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、名誉会員の推挙について説明がなされた。候補者として、蓮見孝先生と久保雅義先生が挙げられ

た。最終的な資格と意思確認を佐藤本部事務局長が行うこととなった。

7. 2018年度会長賞の選考について（松岡会長）

松岡会長より、各支部より4名の推薦があったとの説明がなされた。審議の結果、推薦のあった4名に授賞することとなった。

8. 2018年度春季研究発表大会について（赤井実行委員（代）佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、大会ポスターと参加費用のための振り込み用紙を会員に向けて発送するとの報告があった。また、学生会員へは正会員への移行のための書類も同封することとなった。

9. 2018年度秋季企画大会について（田村担当理事）

田村担当理事より、テーマ案、プログラム案等が示された。議論の結果、市民講座企画、ライトニングトークの具体的な内容、およびタイトル案の微修正を検討することとなった。これらに加えて、パネリストの選定やチラシやポスター案を次回の理事会で示すこととなった。

10. 役員活動費について（國澤法人化対策特別委員長）

國澤法人化対策特別委員長より、今後の役員活動に関する費用に関する説明がなされた。議論の結果、適切な役員活動に関する費用を処理するため、「役員活動費」を「交通費」とし、第2地区（首都圏）以外の役員へ1回分（往復）の交通費（上限額有）を実費精算する案が挙げられた。具体的な上限額等については次回の理事会で示すこととなった。

11. 次回理事会と懇親会（引継ぎ会）について（松岡会長）

松岡会長より、次回の理事会（14時30分～@慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎）後に、新旧理事による引き継ぎ会（17時～）の実施提案がなされ、承認された。

12. 会員の移動について（佐藤（浩）本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員12名（内外国人2名）、学生会員27名（内外国人14名）

退会：正会員10名（内外国人1名）

休会：正会員1名

が承認された。

会員の増減の推移を把握するために、今後、定期的に示すこととなった。

【報告事項】

13. 特集号の進捗状況について（井口学会誌編集・出版委員長）

井口学会誌編集・出版委員長より、特集号99号と100号の進捗状況に関する説明がなされた。

14. 論文集（英文ジャーナル、デザイン学研究）の進捗状況について

（寺内論審委員長、佐藤（浩）論審委員）

佐藤（浩）論審委員より、2017年度内に6冊（『デザイン学研究』4冊、『Journal of the Science of Design』2冊）が発刊されたとの報告がなされた。

15. 藝術学関連学会のシンポジウムについて（小林担当理事（代）佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、藝術学関連学会シンポジウムにおける当学会からのパネリストとして、富田直秀氏（京都大学）が参加するとの報告がなされた。

記録：佐藤（浩）

日本デザイン学会2018年度第1回理事会議事録

日時■2018年6月2日（土曜日）14：30～17：00

場所■慶應義塾大学 日吉キャンパス（日吉）

来往舎中会議室&生協2階

出席者■松岡、小林、國澤、井口、井上（征）、大島、岡崎、久保（雅）、久保（光）、滝本、田中、寺内、益岡、村上、山田、山中、山本、佐藤（弘）、小野、加藤（健）、佐藤（浩）、池田（岳）、上綱、加藤（大）、加藤（三）、國本、永盛、原田、平松、細谷、両角

欠席者■蘆澤、五十嵐、池田（美）、伊原、井上（貢）、内山、岡田、岡本、尾登、柿山、清水、櫛、工藤、黄、小山、佐々木（尚）、佐々木（美）、杉下、須永、田村、永井、生田目、森田、柳澤、柚木、横溝

1. 会長挨拶

松岡会長より挨拶がなされた。

2. 2018年度第1回運営委員会議事録の承認

2018年度第1回運営委員会の議事録が示され、軽微な修正を除き、原案通り承認された。

【審議事項】

3. 2018年度学会活動方針（松岡会長）

松岡会長より、2018年度学会活動方針案が示され、承認された。

4. 2018年度学会組織について（松岡会長）

松岡会長より、2018年度学会組織案が示され、承認された。各委員会・支部における幹事選出は可能な範囲で総会までに行っていただき、事務局にメールで連絡することとなった。

5. 2018年度学会運営スケジュールについて（佐藤（浩）本部副事務局長）

佐藤（浩）本部副事務局長より、2018年度学会年間スケジュール案について説明がなされ、承認された。

6. 2017年度決算について（小野本部副事務局長）

小野本部副事務局長より、2017年度の決算について説明がなされ、誤記の修正部分を除き、承認された。

7. 2018年度予算案について（小野本部副事務局長）

小野本部副事務局長より、2018年度予算について説明がなされ、誤字等の軽微な修正を除き、承認された。また、CPD協議会費の2018年度以降の支払いについては教育・資格委員が今後検討することとなった。

8. 2018年度春季研究発表大会について（赤井実行委員（代）益岡第4支部長）

益岡第4支部長より、発表件数は276件（口頭発表：184件/ポスター発表：92件）、参加登録数455件（5/31時点）との報告がなされた。また、大会webサイトへのプログラムと全体スケジュールの掲載完了と、冊子と概要集の発送準備を進めているとの説明がなされた。

9. 2018年度総会と議案書について（佐藤本部事務局長）

佐藤本部事務局長より、2018年度総会と議案書案について説明がなされた。審議の結果、総会全体のシナリオを作成し（担当：小野本部副事務局長）、それに基づき次第を修正することとなった。また、2017年度活動報告のない部会については資料から削除することとなった。なお、総会後の理事会選出副会長選挙においては、従来通り、特設理事は副会長の被選挙人にはならないこととなった。

10. 2018年度秋季企画大会について（田村担当理事（代）佐藤（弘）本部事務局長）

佐藤（弘）本部事務局長より、参加費等の計画案やチラシ案について説明がなされた。参加費の計画案は承認され、チラシ案については「一般社団法人」を追記していただくこととなった。また、懇親会と閉会式において2019年度春季大会の告知を行うこととなった。

11. 理事会交通費について（小野本部副事務局長）

小野本部副事務局長より、理事会交通費の支給方法案について説明がなされた。審議の結果、次回の理事会までに各理事の意見を集約し、最終的な支給方法を決定することとなった。

12. ダークアーカイブサービスの提供開始について（佐藤（浩）論文審査委員）

佐藤（浩）論文審査委員より、J-STAGE掲載データの長期的保存と安定的提供とを目的としたダークアーカイブサービスについて説明がなされた。審議の結果、『デザイン学研究』『Journal of the Science of Design』『デザイン学研究特集号』『デザイン学研究 研究発表大会概要集』についてサービスを適用することとなった。また、『デザイン学研究作品集』については、トリガーイベント時に認証設定ができないことからダークアーカイブサービスからは除外することとなった。

13. 会員の移動について（佐藤（浩）本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、

入会：正会員32名（内外国人2名）、学生会員65名（内外国人12名）、

賛助会員：1社

退会：正会員13名（内外国人1名）、年間購読会員1社

が承認された。

14. 会長賞の準備について（松岡会長）

会長賞の授与は春季大会懇親会にて行い、賞状等の準備は事務局で行うこととなった。

【報告事項】

15. 特集号・会報の進捗状況について（井口学会誌編集・出版委員長）

井口学会誌編集・出版委員長より、会報（No.221）がホームページ上に掲載され、2018年5月刊行予定の第26巻1号「慮るデザイン」が7月に刊行されるとの報告がなされた。また、第26巻2号「共創・当事者デザイン」の準備状況についても説明がなされた。さらに、春季大会や秋季大会の内容を特集号とする以外の企画を委員会手動で進めていくこととなった。

16. 論文集（英文ジャーナル・デザイン学研究）の進捗状況について（佐藤（浩）論審委員）

佐藤（浩）論審委員より、『Journal of the Science of Design』Vol.2のNo.1の発行が6月中になるとの報告がなされた。

17. 作品集の進捗状況について（須永作品審査委員長（代）永盛作品審査委員）

永盛作品審査委員より、2017年度作品集がJ-Stageにて公開されたとの報告がなされた。また、J-Stage上でのムービーの有無や区分の表示方法について検討するとともに、募集告知を早急に行うこととなった。

18. ホームページ更新状況について（大島広報委員）

大島広報委員より、委員会や支部における引き継ぎ時に、関係するwebサイトのページ更新作業のお願いがなされた。また、各委員会や支部における更新状況をチェックする方法についても検討することとなった。

記録：佐藤（浩）

日本デザイン学会2018年度第2回理事会議事録

日時■2018年6月22日（金曜日）11：30～12：45

場所■大阪工業大学 梅田キャンパス

OIT梅田タワー2階 201室

出席者■松岡、小林、國澤、井口、井上（征）、伊原、大島、柿山、加藤（健）、櫛、工藤、黄、佐々木（尚）、滝本、田村、寺内、生田目、益岡、村上、柳澤、山田、山中、佐藤（弘）、小野、佐藤（浩）

名誉会員■井上、永田

欠席者■五十嵐、井上（貢）、内山、岡崎、岡本、尾登、國本、清水、久保（雅）、久保（光）、須永、田中、永井、山本、柚木

1. 会長挨拶

松岡会長より挨拶がなされた。

2. 名誉会員の紹介

永田喬名誉会員と井上勝雄名誉会員より、挨拶と近況報告がなされた。

3. 2018年度第1回理事会議事録の承認

2018年度第1回理事会の議事録が示され、原案通り承認された。

住所不明で戻ってくる郵便物が
増えております。

住所変更は確実にお願いします。

届出は文書にてお願いします。

転居される方は、FAXまたは
綴じ込みの「入会届け」に

朱書きで「変更届け」と書き添えて、
事務局までご連絡ください。

ホームページ

http://jssd.jp/files/change_regular.pdfにも

様式が掲載されておりますので

ご利用ください。

退会等の届出も必ず文書にて

お願いします。

本部事務局

審議事項

4. 2018年度秋季企画大会について（田村担当理事）

田村担当理事より、パネルディスカッションの登壇者選定や大会ホームページ構築などの準備状況について報告がなされた。今後は、大会テーマ等の英語表記に関する総合企画委員会との検討、ライトニングトークの内容と運用方法の検討、および防災に関するマニュアル準備なども進めていくこととなった。

5. 会員の移動について（佐藤（浩）本部副事務局長）

事務局に提出された書類を回覧・審議した結果、
入会：正会員8名（内外国人2名）、学生会員3名、
退会：正会員3名、学生会員10名（内外国人2名）
が承認された。

6. 会員の著書について（大島広報委員）

大島広報委員より、会員の著書の承認依頼がなされ、承認された。また、今後のwebページへの掲載可否については、広報委員会にて判断し掲載することとなり、掲載内容を理事会で報告することとなった。ただし、内容や表現に関して広報委員会に判断しかねる申請については理事会で審議することとなった。

【報告事項】

7. 論文集（英文ジャーナル・デザイン学研究）の進捗状況について（佐藤（浩）論審委員）

佐藤（浩）論審委員より、『Journal of the Science of Design』Vol.2のNo.1が近日中に公開されるとの報告がなされた。また、『デザイン学研究』Vol.65のNo.1の7月発行のための準備を進めているとの説明がなされた。

8. 特集号・会報の進捗状況について（井口学会誌編集・出版委員長）

井口学会誌編集・出版委員長より、第26巻1号「慮るデザイン」、第26巻2号「共創・当事者デザイン」の準備が現状では予定通り進んでいるとの報告がなされた。また、今後の特集号の企画やその募集方法等については研究推進委員会や総合企画委員会と議論していくこととなった。

9. ホームページ更新状況について（大島広報委員）

大島広報委員より、新しい組織での運用のための準備を進めているとの報告がなされた。

10. 2019年度秋季企画大会について（松岡会長）

松岡会長より、2019年度秋季企画大会の実施校の募集を行っているとの説明がなされた。

11. 2019年度秋季企画大会について（井口理事）

井口理事より、2019年秋にバウハウス創設100周年を記念したシンポジウム開催を計画しているとの説明がなされた。

記録：佐藤（浩）

日本デザイン学会2018年度第3回理事会議事録

日時■2018年6月22日（金曜日）16:10~17:00

場所■大阪工業大学 梅田キャンパス

OIT梅田タワー2階 201室

出席者■松岡、小林、蘆澤、井口、池田（岳）、井上（征）、大島、岡崎、柿山、加藤（大）、加藤（健）、加藤（三）、上綱、工藤、國澤、國本、久保（雅）、黄、佐々木（美）、杉下、田村、永盛、生田目、平松、細谷、村上、両角、柳澤、山中、横溝、佐藤（弘）、小野、佐藤（浩）

欠席者■池田（美）、岡田、久保（光）、小山、永井、原田、森田

1. 会長挨拶

松岡会長より挨拶がなされた。

【審議事項】

2. 理事会選出副会長の選出（井上（征）選挙管理委員長）

理事会選出副会長の選出選挙を実施した結果、佐藤弘喜理事が理事会選出副会長となった。

3. 懇親会費とエクスカーション費の扱いについて（松岡会長）

松岡会長より、懇親会費とエクスカーション費の扱い方法について提案がなされた。議論の結果、事前にキャンセルの連絡をいただいた参加者分の懇親会費については返金することとなり、エクスカーション費についてはエクスカーションを実施していないことから全員へ返金することとなった。

4. 理事の役割担当について（松岡会長）

松岡会長より、2018年度学会組織案について再確認がなされ、承認された。

5. 理事会日程の一部見直しについて（佐藤（浩）本部副事務局長）

佐藤（浩）本部副事務局長より、2018年度学会年間スケジュールにおける理事会開催日の一部見直し（2019年5月25日→2019年6月1日）の提案がなされ、審議の結果、承認された。

6. 作品集公募について（杉下作品審査委員長）

杉下作品審査委員長より、J-Stage 上での作品ムービー一覧表示方法と投稿先メールアドレスに関する提案がなされた。審議の結果、J-Stage 上での作品ムービー一覧表示方法については継続審議となった。また、投稿先メールアドレス案については提案のアドレスが承認され、その他の報告事項についても確認がなされた。

7. 各賞受賞公募について（山中担当理事）

山中担当理事より、今後の審査日程や方法について学会各賞選考委員長と議論を進めて決定していくとの説明がなされた。

【報告事項】

8. 2018年度秋季企画大会について（田村担当理事）

田村担当理事より、準備状況について説明がなされ、大会テーマの英語表記、ライトニングトークの内容の運用方法検討、および防災に関するマニュアル準備を今後進めていくとの報告がなされた。また、宿泊施設を早めに確保していただくようお願いがあった。

9. 2019年度春季研究発表大会について（國本担当理事）

國本担当理事より、2019年6月28日（金）から30日（日）の日程で名古屋市立大学桜山キャンパスにて開催予定との報告がなされた。大会テーマは「デザインとヒト：未来に向けて」であり、エクスカッション案等の説明がなされた。今後、詳細な日程や基調講演等の検討を進めていくこととなった。

10. 第1支部大会開催のお知らせ（横溝第1支部長）

横溝第1支部長より、2019年10月7日（日）から8日（月）日程で秋田市（幹事校・秋田大学）にて開催されるとの報告がなされた。

11. 日本デザイン学会OB・OGとの交流機会の模索について（松岡会長）

松岡会長より、日本デザイン学会OB・OGとの交流促進に関する提案がなされた。春季大会にてセッションを立てるなどしてリタイアされた学会OB・OGとの交流の機会を設けるなど、交流方法について今後検討していくこととなった。

記録：佐藤（浩）

第三支部活動報告

本年度第三支部の活動は下記の5事業を計画しており、いずれもその日程を以下のとおり定めて準備を進めています。

1. 第3支部ウェブサイトの運営

支部会員間の情報交流を図る為に、ウェブサイトの内容をより充実することを目指します。今年度から、デザインイベントカレンダーのコーナーを設け、東海と北陸両地域間の情報受発信の活性化を期待しています。

2. 日本デザイン学会第3支部研究発表会・懇親会

第3支部の会員はどのような研究やデザイン活動を行っているのかを、研究発表会を通して相互に知り合い、懇親会を通してより深い交流を図ることを目的としています。本年度は2019年3月に名古屋市立大学・桜山キャンパスで開催します。研究発表会ではISSN 番号取得した論文概要集を出版し、学生の優秀発表賞も選出・表彰します。

3. 日本デザイン学会奨励賞第3支部

学生の研究・デザイン活動を評価する為に、学生研究表彰制度を継続して行います。各教育機関において優秀な研究・制作活動を行った大学院生や学部生を対象とした「奨励賞」を設定し、各機関にデザイン学会員の選考・推薦に基づき決定します。今年度の募集案内が9月から支部サイトで開示しております。

4. 日本デザイン学会第3支部報告集

平成29年度より、支部会員の研究・デザイン活動の発表の場として、「報告集」を刊行しています。発表対象は、既に商品化したものから、試作・研究レベルのものまで幅広く対象といたします。今年度の募集案内が9月から支部サイトで開示しておりますので、会員皆様ならびに一般の方からも多数のご投稿をお待ちしております。

5. 学生会議による研究交流事業

新しい取り組みとして、学生デザイン会議の構想を検討しています。大学院生がリーダーとなり、学生同士の研究交流を活性化することで、本学会への入会を促進することを期待します。

会員の移動

◆2018年度1回運営理事会確認 2018.04.07

名誉会員の清水國夫先生が逝去されました、生前のご厚情に深く感謝するとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

新入会

正会員12名（内外国人2名）

天野 信子 植田 育代 大草 真弓 小縣慎太郎
下總 良則 進藤 環 仲田 英起 中村 和宏

村田 佳奈 山田 大典 Mahshid Baniani
Yu Huilan

学生会員27名 (内外国人14名)

浦崎 秀司 片倉 葵 川野辺晏実 兒玉 彩
佐藤 謙治 関 悠嗣 中部 主貴 中村 裕太
西尾 修朔 平館 勇馬 古川 文子 保科 耀介
松原かおり 童 欣路 李 昀叡 王 宛奕
章 可瑜 趙 德群 簡 仲廷 高 詩雅
林 幸蓉 林 庭婦 余 友琳 張 嘉文
陳 致嘉 陳 力維 包 長立

退会
正会員 9名
伊藤 弘樹 大西 果林 兼清 慎一 土屋 高康
富松 潔 中嶋 隆裕 松川小枝子 松川 秀樹
山田 和夫

◆2018年度 1 回理事会確認 2018.06.02

入会
正会員33名 (内海外会員 2名)

阿部 寛史 伊藤 誠也 内田 哲人 長田 純一
梶谷 克彦 柏原 寛 片岡さくら 片山 尊奈
木村 篤信 倉田 晃希 小山 太郎 佐々知栄子
鈴木 綾 高木 友貴 高屋喜久子 竹田 周平
中川 志信 中田 悠理 鳴海 藍 野崎 雅子
野田佳穂莉 野々山正章 東 翔大 松林 景子
水野 忠陽 守屋誠太郎 山崎 泰寛 山本 史
吉村 祐樹 若藤 珀庵 和田あずみ 鄭 婉廷
黄 啓帆

学生会員68名 (内海外会員13名)

飯塚 昂大 石井 菜月 市川 貴大 伊藤 汰地
伊藤 誉 枝松佐百合 大久保優希 大倉 幹生
大竹 美緒 大谷 周平 奥村健一朗 小田 航
梶谷 文雄 菊地 遥太 岸本 健 北名 和宏
清川 真純 久保田百合 郷津 竜帆 小崎 雄大
後藤 礼圭 昆野 照美 坂本 星 坂本 真里
佐竹 希里 佐藤ちひろ 佐藤 里菜 志田 樹大
柴田 一樹 高橋 拓夢 高橋 紀子 高橋 真由
伊達 亘 鳥井 裕太 中尾 俊祐 中野 司
中山 立輝 西垣江利子 橋本 慶吾 原 葉月
平山 義活 藤村 諒 松林さつき 水井 遥夏
三谷 全哉 宮浦 志穂 安田 朱里 柳井 悠

山岡美紗希 山下 杏子 吉澤 知恵 吉田 周生
吉田 夏稀 和田 沙樹 渡辺 裕之 李 天宇
HARI NUGRAHA 張 白鈺 余 碧華
劉 玉琪 陳 虹好 樊 汝之
GOPAL SAI LAKSHMI 李 博 周 瑞剛
NABHAN Ralph 姚 淳禹 張 宇涵

賛助会員 1 件
株式会社日立ドキュメントソリューションズ

退会者
正会員10名
石本 明生 河地 知木 齋藤 式子 酒井 祐輔
諏訪 正樹 水本 徹 宮澤 一人 宮澤 知世
南 秀明 横井 健二

年間購読会員 1 件
京都府立中小企業技術センター 企画連携課 前田 年宣

訃報
池田 薫 (二地区) 吉田 泰三 (一地区)

◆2018年度 2 回理事会確認 2018.06.22

新入会
正会員13名 (内海外会員 2名)

石川 雄仁 井上 郁 小川修一郎 角坂 麗子
貴島 英恵 倉地 宏幸 下中 雄一 須藤 真
難波 祐成 堀川 将幸 皆木 典子 張 益準
Fang-Wu Tung

学生会員 3 名
貴島 英恵 延田 リサ 堀川 将幸

退会者
正会員 3 名
影山 勇一 小松崎里恵 下村 剛

学生会員10名 (内海外会員 2名)

五十嵐真希子 上野 志歩 氏家 拓海 笠井ゆきひ
桑田 奈々 酒匂 一世 萩原 園華 松下 俊介
金 宝恩 張 丹荷

◆2018年度2回運営委員会確認 2018.09.08

新入会

正会員 8名

稲坂 晃義 大場 晴夫 上林壮一郎 酒谷 粹将
遠峰 結衣 時岡 英互 早川 克美 山縣 正幸

学生会員 8名 (内海外会員 4名)

杉山 弓香 鈴木 晴賀 長谷川幸光 山本 彩
郭 軼非 林 子翔 Katharina Maria Mayer
Lin, Ting-Ju

退会者

正会員 3名

小林 宏司 坂本 英之 進藤 孝慈

訃報

田崎 はじめ (二地区)

学生会員 5名 (内海外会員 1名)

平田 圭子 石川 和也 梶田 航一 小鯖 智之
戴 薪辰

献本御礼

◆図書

「デザイン理論 意匠学会編 72号」意匠学会、2018年7月
「工学教育研究講演会講演論文集 第66回年次大会プログラム
「ものづくり／ことづくりのための工学教育」日本工学教育協
会、2018年8月
「感性デザイン～統計的手法(ラフ集合)、事例、I/F、マーケ
ティング」井上勝雄、2018年9月
「地産デザイン2 JAGDATO地元デザイナーによる地域活性
実現への道」JAGDA、2018年3月
「多摩美術研究 第7号」多摩美術大学、2018年6月
「ルネサンスの多面体百科」宮崎興二、2018年7月

◆機関誌

「日本オフィス学会誌 vol.10」
「安全保障と天文学(2)」

◆展覧会図録

「建築の日本展：その遺伝子がもたらすもの」森美術館、2018
年8月